

天真寺門信徒会だより

1999
H11年
4月
Vol. 266

●今月の法語

人と生まれし悲しみに 人と生まれし喜びを知る

皆さんの自宅の近くにも桜の名所はあると思いますが、寺の近くの常磐平の桜も、今年は一週間早く咲きました。見事な桜のトンネルですよ！

「ときわ平桜まつり」
4月3日(土) 正午～午後8時、4日(日) 午前10時～午後7時(雨天決行) 各種パレード等・



4月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜日朝7時

おつとめ(正信偈繰り読み)法話・茶話会

○婦人の集い

4月9日(金) 午前11時より
総会を行います。(昼は寺で準備)また、下記親睦旅行参加者は参加費と共に申し込み下さい。

○仏教講座会

4月20日(火) 午後1時半
講師 本願寺布教使
渡辺浄道師(埼玉県)

婦人部親睦旅行のおさそい

日時 平成11年5月24日～25日

新八柱駅前8時20分集合

場所 磐梯熱海温泉

ホテル華の湯(会津)

代金 1名 17,000円

※詳細は寺にパンフレットを請求下さい。

5月の行事

朝の日曜礼拝 毎・日曜日朝7時

婦人集い 5月10日(月) 1時半

門信徒会総会。永代経法要

5月16日(日) 午前・午後

住職のひとりごと...

「人の手本にはなれないが

見本にはなれる」

北陸に高光大船というみんなから尊敬される念仏者が「自分は人の手本にはなれない、だけど見本ぐらいにはなれるだろう」と言われた。

私はこの言葉に何かホッとする安らぎをおぼえる・・・阿弥陀さまの救いを表している。

手本は立派なことには違いない・・・
・だけど阿弥陀さま智慧に照らされた私の姿は、自分中心で煩惱三昧(欲・怒り・愚痴)の日々であり、とても手本になれるような姿(身口心)は一つもない恥ずかしい自分を知らされる。

浄土真宗に帰すれども

真実の心はありがたし

虚仮不実の我が身に

清浄の心はさらになし

(親鸞聖人和讃)

見本という私は、立派な自分を取り繕う訳でもなく、ありのままの自分でいいんですね!

よろづのことにつけて、往生にはかきこきおもいを具せずして、ただほればれと弥陀の深重なること、つねにおもひいだしまゐらすべし。
(歎異抄)

阿弥陀様のご本願は「手本になれない」私を「見本のまま(このままの私)」を救う為にありました。合掌

お知らせ

●月刊天真内容一新

今月号より「月刊天真」の内容を一新し、御堂さんと共に「天真寺門信徒会だより」として、毎月門信徒の皆様にお送りいたします。

●門信徒会々費未納の方

天真寺門信徒会の運営は、皆様からの会費等で運営されており、会費の請求は5月号に同封いたしますが、3ヶ年未納の方は、自動的に退会とさせて頂きまますのでご了承下さい。

●天真寺墓所

前々より寺の近くで天真寺門信徒用の専用墓地を計画しておりますが、とりあえず柏市北部の方の為に一般墓地の一部を確保する計画を進めております。計画が明らかになりましたらご案内いたします。

●お便り待ってます

天真寺門信徒会だよりでは皆様からの投稿(300字以内)お待ちしております。内容は問いませんので、住所・氏名・電話番号明記のこと。掲載文には記念品贈呈。



●今月の法語
下るほど人が
見上げる藤の花

散歩していると、今まで何もなかった木の枝に新しい命が息吹き、青葉若葉が日に照り映えて目にしみる季節となりました。寺から5分の所に「21世紀森のひろば」がある。ご法事後、弁当を広げて芝生の上で「おとぎ」にするのもいいだろうなア・・・そんな気持ちにしてくれる広場です。



5月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜日朝7時
おつとめ(正信偈繰り読み)法
話・茶話会

○婦人の集い

5月24日ー25日(月・火) 婦人部の親睦旅行で磐梯熱海温泉(会津)へ行って来ます。

○ヨーガ教室 5月12日(水)・26日(水)各、午後1時より

6月の行事

○朝の日曜礼拝 毎・日曜日朝7時

○仏教講座会 6月20日(日)

講師 本願寺布教使 加戸利円師

平成11年5月16日(日)

門信徒総会 午前10時より

永代経法要 午後1時より

講題 「日本人は何故 無宗教なのか」

講師 明治学院大学教授

阿満利 磨 師

〈講師紹介〉阿満利磨(あま・としまろ)一〇三九年生まれ。京都大学教育学部卒業、NHK入局。社会教養部チーフ・ディレクターを経て現在、明治学院大学国際学部教授。特に日本人にとっての宗教の意味を探究している。主著に「宗教の深層」等々がある。

「中央仏教学院通信教育に学んで」

松戸市常盤平双葉町

山口 武 典

私は浄土真宗本願寺派(私達の宗派)の中央仏教学院(仏教を学ぶ学校)の通信教育部三年次に在学中です。

今、私達の身の周りでは、毎日痛ましい事件が勃発し、種々の問題があります。この様な中で、宗教の役割、心の時代が言われていますが、正しい宗教について、しっかり学ぶことはきわめて大切なことだと思います。一方、私は、浄土真宗の家庭で育ちながら、親鸞聖人のみ教え、仏法の教えの根本、お莊嚴、作法について、ほとんど知らない状態でありました。ある日、住職が、家にお参りに来られた時、この通信教育をおすすめ下さり、翌年度より入学させて頂きました。

早速学院より、教科書、お勤めのテープが送られて来ました。築地別院で月二回行われる自主学習会にも入会し、学習を始めますと、仏教・真宗・仏教史・真宗史・宗教・お勤め等が体系的に学習出来、開法の機会も多く、「千天に慈雨」といいますが、私の身体全体に、真実のみ教えがどっと流れ込むのを覚ええました。学年が進むに従いそれがより立体的且つ深くなつて参りました。そして築地別院では多くの法友が出来、皆で楽しく励まし合つて学習をさせていただきます。

編集後記

●上記「中央仏教学院通信教育に学んで」を投稿下さった、山口さんは、天真寺門信徒会々計として、また、中央仏教学院通信部の教区代表世話人として活躍されておられます。

通信教育の要旨は今月号の「み堂さん」29ページをご参照下さい。もし、お心のある方は勇気を出してチャレンジしてみして下さい。山口さんもきっと相談にのってくれたいと思いますので、電話してみして下さい。貴方自身の人生に意義と慶びを与えて下さる事でありましょう。

●お便りお待ちしております

天真寺門信徒会だよりでは皆様からの投稿(300字以内)お待ちしております。住所・氏名・電話番号明記のこと。掲載文には記念品贈呈。



天真寺門信徒会だより

1999
H11年
6月
Vol.268

●今月の法語 人をそしらず 自慢せず 身のいたらぬを恥じて念仏

朝は散歩する人、ジョッキングする人、おもしろいおもいに皆さん初夏の清々しい日差しと、風のかおりを楽しんでおられます。

お寺で毎日曜日朝7時より行っている「朝の日曜礼拝」(下記写真)も少しずつではありますが、参加する方が多くなりました。



6月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜日朝7時
おつとめ(正信念仏偈・和讃の
繰り読み) 法話・茶話会

○仏教講座会 6月20日(日)
講師 本願寺布教使
加戸利円師

○ヨーガ教室 6月9日(水)・23
日(水)各、午後1時より

※門信徒会費まだ未納の方は、
お早めに納入お願いします。

7月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜日朝7時
○婦人の集い
7月9日(金) 午後一時半より

○仏教講座会 7月20日(日)
講師 本願寺布教使
加戸利円師

門信徒会総会報告

5月16日(日) 午前中、門信徒
総会が開催され、行事報告・決算
報告・行事計画・予算案等々熱心
なる審議なされた。特に今年4月
より新たに配布されている「み堂

さん」について、予算面から、また、会費未納者への対応について等々について予定時間を超えて審議されましたが、原案通り承認可決されました。尚、平成10年度事業報告、平成10年度決算報告並びに平成11年度予算につきましては裏面をご覧ください。

公園墓地「かしわ清光苑」

前々より天真寺のご門徒専用墓地を計画しておりますが、よい物件が見つかって、周辺住民の反対等により、実を結んでおりません。とりあえず、柏市内に左記要旨により、天真寺門信徒様区画(数十区画)を購入し、販売を計画しております。柏近辺と方々につきましては、アンケートを実施、意向を伺っておりますが、その他の地域の方で「かしわ清光苑」の詳細を知りたい方は、ご連絡ください。資料をご送付します。

記

名称 公園墓地「かしわ清光苑」
所在地 柏市布施668番地
新大利根有料道路

柏市側入り口付近

交通 JR柏駅より車で約15分

JR柏、北柏駅よりバス

バス停徒歩1分

経営主体 西方寺(天真寺住職実弟)

永代使用料 3.0㎡、90万円位の予定

以上

「私の散歩道」

松戸市小金 鈴木いとゑ
わが家の近くに法然上人縁りの由緒ある浄土宗の寺の境内を散歩道にしている。私はお賽銭をポケットに出掛けます。境内は広くて奥深く季節の花々や野鳥が多く別天地の様な気分になります。着くと先づ本堂に向って、上人様がこの世にご出せなかつたら我々は仏法をきくことが出来なかつたであろうと独り言を呟き乍らお賽銭を入れ合掌する偶には知人に出会い立ち話をし一時を楽しむこともある。今年も桜の季節に出かけた沢山の人が花見にきていた。合掌していると突然檀家さんですかと聞かれた。いいえと答えて見ると三、四人のお友達らしく、お参りするでもなく立ち去った、花見に来ている人達の中に仏様に合掌する人の少ないことには驚くと共にとても淋しい思いをした一時であった。

合掌



天真寺門信徒会だより

1999
H11年
7月
Vol. 269

●今月の法話 身なりより 光るあなたの心がけ

もうすぐ夏休み、今から計画し楽しい夏休みにしたいですね。
家を建てるのも、車を買うのも、何でもそうかもしれないけれど、色々考えて計画している時が一番楽しい。
私も、宝くじを買って色々計画したけど、思うようには行きませんでした。でも考えるの楽しい！



7月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜日
朝7時。おつとめ（正信念仏偈・和讃の 繰り読み）、法話・茶話会
- 婦人の集い 7月9日（金）
午後1時半より
- 仏教講座会 7月20日（祝）
午後1時半より
講師 本願寺布教使
加戸 利円 師
- ヨーガ教室 7月7日（水）
21日（水）各、午後1時より

8月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜日朝7時
- 五箇盆会法要
8月16日（月）午後一時半より
講師 中央仏教学院部長
北 畠 晃 融 師

梅雨は大地をうるおすように
法水は心地をうるおし
浴水が身の垢を洗うように
慈悲の水は心の垢を洗う

天真寺婦人部一泊旅行

松戸市小金原 本橋

定刻八柱出発。高速道路を過ぎ、塩原にて昼食。藤の花、山つつじを見ながら新緑のトンネルをバスは順調に走り
もみじ谷大吊橋へ。



磐梯熱海温泉
華の湯へ予定
より早く到着。
展望風呂、露天風呂食事、カラオケ、時を忘れてのおしゃべりは夜遅くまで続いた。朝の静かな霧雨の山々はまた格別だった。ホテルを出発する頃は雨も上がり、きらきらと輝く猪苗代湖の水面を左に右に磐梯山をバスは走り、世界のガラス館へ、そして会津村へ。慈母観音像の大きさに驚きながら記念写真を撮る。大庭園の案内の人の福島弁もとても親しみを感じた。会津若松城、会津漆器工房を経て無事八柱に着いた。
よく笑って食べ語らいの中に人と人との優しさと温かさを感じ、また来たいね楽しかったね、を耳にしたとき、自然の大きな力を感じ心の安らぎを教えられたと思う。

お盆のお参り

お浄土へお還りになった方は、菩薩となつて、私にはわからないけど、いつでもどこでも私と共にいて下さつて、私を護り導いて下さつて下さいます。13日から15日の間にかかわらず、勤める日がお盆です。

尚、8月13日ー15日は新盆の方のみとさせて頂いておりますが、お参り時間はハッキリとお約束出来ませんので悪しからずご了承下さい。

99夏 阿字ヶ浦

お寺の臨海学校参加者募集

- プログラム おつとめ・ゲーム・磯遊び
キャンプファイヤー等
- 日程 平成11年8月18日ー20日
(2泊3日)
- 場所 茨城県ひたちなか市
阿字ヶ浦クラブ浄妙寺
- 参加対象 小学3年生ー中学生
- 参加費 1万円/人(宿泊・食費
6食・保険等)
- 募集人員 50名
- 締め切り 7月31日



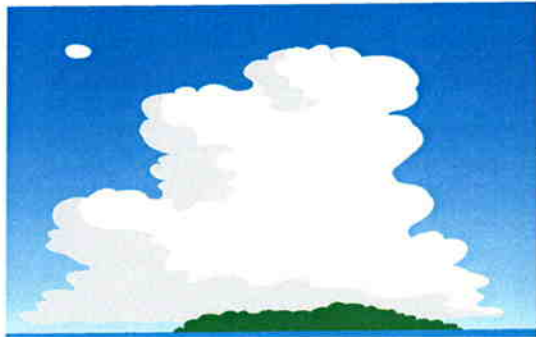
天真寺門信徒会だより

1999
H11年
8月
Vol. 270

●今月の法語

のがれられない この暑さ 暑さから 味を見だす 夏のたのしさ

暑中お見舞い
申し上げます
青い空・青い海・白
い雲・黄色いヒマワリ
・虫の音・みんなみ
んな輝き、それぞれの
光を放っています。
当たり前としか見るこ
との出来ない私たち。
ほんの些細な事がすば
らしく、尊い事であつ
たと気づかされる。



8月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜日朝7時。おつとめ（正信念仏偈六首引き）、法話、茶話会

孟蘭盆会法要

8月16日（月）

午後1時半より

講師 中央仏教学院（本山）
部長 北畠晃融師

○ヨーガ教室 8月11日（水）
25日（水）各、午後1時より

9月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜日朝7時
○念仏奉仕団 9月6日―8日
（本山・大阪）

○婦人の集い 9月10日（金）

○教区仏婦一泊研修会

9月12日―13日

○千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

9月18日（土）PM12時45分―

3時 於・千鳥ヶ淵戦没者墓苑

○秋の彼岸法要

9月23日（祝）午後1時半

講師 映画監督 松林宗恵師

住職のつとめ

魂・霊・幽霊・・・①

魂を入れたり出したり

出来ますか！

お釈迦様は、この世の全ては「縁によって生じ、縁によって滅す」これ縁起の法であり、不変なる靈魂を説かれていない。

しかし世の人は、お墓に魂を入れる「開眼」とか、お仏壇や位牌に「魂入れ」・・・と言われるが、お墓を建てたら「建碑法要」であり、お仏壇なら「お入仏法要」である。

友人の布教使が、あるお宅から「魂入れ（入仏法要）」をして下さいと言われ、そんなら「あなたの魂抜いたるか！」と言ったという。そんな魂入れたり出したり出来るかいなア。

他宗では、位牌に○○○居士霊位と記されているのをよく見かけるが、亡くなった方を魂とか霊といたたくから、フワフワとさまよう霊が、災いを起こさないようにと、位牌の中に入れてもらい供養する。

お盆になると、仏壇から位牌を出して並べ、お供物を供え、位牌に向かってお経をあげて供養する。

浄土真宗ではそんなことしま

せんよ！

阿弥陀如来に抱かれて、お浄土の世界（おさとり）へ参らせて頂くと、阿弥陀如来と同じお姿となって自由自在に私たちを護り導いて下さいます。

お盆はお仏壇のご本尊（阿弥陀如来）を中心にお荘厳し、お勤め（仏徳讃嘆）させて頂きましょう。

門信徒会入会のお誘い

親鸞聖人は歎異抄に、阿弥陀仏の本願を信じて念仏する人は、何ものにも碍えられることなく、生と死を超える唯一の大道を往くものである。と示されます。そんな人生を共に歩みませんか。入会されていない方は、是非ご入会下さい。

（門信徒会の活動）

●法座活動・・・自分を見つめ法に聞く（仏教講座会・各種法要・研修会）

●ふれあい活動・・・親睦・社会活動（旅行・親睦会・ボンティア）

●文章活動・・・み教えの中の生活（月刊誌・カレンダー等の配布）

※会費は年間3千円です。

入会希望の方は、申込書・振替用紙を送付しますので、お申し付け下さい。



天真寺門信徒会だより

1999
H11年
9月
Vol. 271

●今月の法語 念仏とは 浄土に生まれる 種である

残暑お見舞い
申し上げます
夏休みも終わり、秋の気配が感じられるようになって来ましたが、夏休みは楽しかったですか。
秋は読書の秋、実りの秋と言いますが、私自身の実りは、後生の一大事の解決以外にありませんよ。聴聞聴聞



9月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
おつとめ（正信偈・和讃六首
引き）、法話、茶話会

秋の彼岸法要
9月23日（祝）
午後1時半より
講師 映画監督
松林宗恵師

○ヨーガ教室 9月1日（水）
22日（水）各、午後1時より

本山・教区・組の行事

○念仏奉仕団 9月6日―8日
（本山・大阪）

○教区仏婦一泊研修会
9月12日―13日

○千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

9月18日（土）PM12時45分―
3時 於・千鳥ヶ淵戦没者墓苑

10月の行事

朝の日曜礼拝 毎日曜日朝7時

3日 築地別院二法要

9日 千葉組壮年研修会

20日 仏教講座会

23日 千葉組仏婦10周年大会

住職のひとりごと

魂・霊・幽霊・・・②

幽霊とは、私自身の姿だった！
一時期テレビで心霊写真等々の番組がよく放映されていた。お寺にも心霊写真なるものを処分してほしいとよく来られたものである。

私も最近知ったことであるが、幽霊には三つの特徴があるそうです。
一、髪の毛が、長く後ろに伸びている。
二、両手が前に垂れている。

「取り越し苦労」という言葉があるように、将来、未来のことにあれこれ悩んで、無駄な心配をして心を奪われている。
三、足がない。

過去のことに未練を残して、いつまでも振り切れず、未来のことが気がかりで我が身の現実が留守になって見えない状態を、足がないと表現されている。

そうすると幽霊とは、あっちこっちに心を奪われ、地に足が着いてない
私自身の姿でありましょう。
◇鏡の前に立てば姿がうつる

教法の前に立てば心がうつる。
阿弥陀如来の御本願は、私達が早く迷いの現実気づき、**真実の世界**にめざめてゆくことを、願いつづけておられます。
合掌

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

宗門の恒例法要として昭和56年より毎年9月18日に、国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において全戦没者追悼法要を修行いたしております。本年は19回を迎え、ご門主様ご臨席のもと、左記の通り厳修されます。是非ご参詣下さい。

記 澤澤

期日 平成11年9月18日（土）
会場 国立 千鳥ヶ淵戦没者墓苑
千代田区3-2

一、つどい 12時45分―13時30分
記念布教 橋本明宣師
二、法要13時30分―15時

築地別院法要告知

「蓮如上人五〇〇回遠忌法要」

「本願寺築地別院修復完成慶讃法要」

記

10月2日 14時より法要。法要後、
記念講演 作家 五木寛之氏

10月3日 10時・14時各法要後、
講話 本願寺総長 豊原大成氏

10月4日 10時 法要後、記念講話
中央仏教学院講師 豊島学由氏

天真寺では10月3日14時よりの速夜法要に団体参拝します。参拝懇志一人二千元（お扱い・記念品・昼食）
また、10月1日の午後6時より狂言公演（狂言師、和泉元弥氏・和泉淳子・三宅藤九郎氏）等が開催されます。詳細はお問い合わせ下さい。

天真寺門信徒会だより

1999
H11年
10月
Vol. 272

●今月のことば あなたの健康法は執着をも ためごと これ仏教の極意

―秋の思い出―
昔、友人の写真家にお寺の写真を撮ってと頼んだ。「秋になったね」なぜ秋でないかとダメなの。「秋は空が青いから！」秋になり空を見ると本当に秋の空は青かった。「執着をもためごと」とよく「空」に喩えられる。何色にも染まることな自由自在。



10月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時

おつとめ（正信偈・和讃六首引き）、法話、茶話会

○仏教講座会

10月20日（水）午後1時30分

講師 東京仏教学院講師 西原 祐治 師

教区・組の行事

3日（日）築地別院三法要参拝

9日（土）千葉組壮年研修会

23日（土）みのり会

10周年記念大会
記念講演 五木寛之氏

参加申込みをしている方は、

天真寺に8時30分集合（時間厳守）して下さい。マイク

ロバスで行きます。尚、10月8日の婦人の集いお休みです。

○ヨーガ教室 10月13日（水）

22日（水）各、午後1時より

11月の行事

毎日曜日は「朝の集い」

6日（土）おみがき会

13日（土）仏建築地別院報恩講

23日（祝）天真寺報恩講

念仏奉仕

小金 鈴木いとゑ

一度は念仏奉仕に行きたいと思っ
ていましたが、今回お陰様で縁が
あって奉仕にいつて参りました。本
願寺に着くとどこでも見る光景です
が、御影堂の修復工事大変、大き
くクレーンが空高く伸びて作業して
いました。昔の人は、今の様な機械
もなく、どんなであつたらうと思ひ
ました。先づ一日目は、各団体が集
つて開会式、其のあと抹茶の接待を
受けて書院参観。持参の雑巾で阿弥
陀堂の畳と廊下の乾拭きでした。終
つて明日の諸連絡を聞いて、夕方ホ
テルに入り、それぞれの部屋で寛ぎ、
5時30分会場に集つて夕食。夜は疲
れたので皆早く休みました。二日目
は朝6時から、ご晨朝参拝に参加し
て又、ホテルに戻り朝食後本山集合。
ご門主様と面接、朝のごあいさつし
て記念写真。外は大雨降だったので、
書院の畳の乾拭き、其のあと、表彰
式があり、法話をいただいた閉会式
解散。昼食を食べてバスで大阪に向
かった。大阪城見学して、宿に入っ
た。夜は懇親会で歌に踊りに、隠し
芸が出て楽しかった。三日目は朝9
時に宿を出発して、水上バスで、中
の島めぐりを楽しんだ。青いテント
を張ったホームレスの人の多いのに
は驚いた。11時過ぎ津村別院到着、
ご法話を聞いて、お昼は大阪での最
後の食事を頂いて、新大阪から「ひ
かり」で帰途に着いた。合掌
本当に皆様ご苦労さまでした。

《おみがき会》

お手伝いお願いします！

今年も報恩講の季節となつて参り
ました。天真寺では報恩講の前にし
て皆さんと共に、お仏具のおみがき、
内陣・外陣・境内の大掃除を行い、
心清々しく報恩講をお迎えしており
ます。ご多忙とは存じますが多くの
方にお手伝いをお願いします。

記

日時 11月6日（土）

午前10時より

午後3時まで

服装 掃除の出来る服装。

尚、昼はお寺で準備しています。



住職雑感

台風が大きな爪痕を残して去つて
ゆくと、春には新緑の若葉も、紅葉
し大地へと還つて行く。自然の営み
である。

私の好きな言葉に「自然法爾」と
いう言葉がある。親鸞聖人88歳のお
言葉である。

「自」は、おのづからといふ、行
者のはからいにあらず。しからし
めるといふことばなり。「然」とい
ふは、しからしむるといふことば、
行者のはからいにあらず、如来の
ちかいに於てあるがゆゑ法爾といふ。

夏から秋に間違いなく季節が移り
ゆく様に、阿弥陀如来の抱かれてお
浄土へ還らせて戴く。南無阿弥陀仏

天真寺門信徒会だより

1999
H11年
11月
Vol. 273

●今月のことば 恩は着るもの 着せぬもの

―朝の風景―
昨夜までの雨も上がり、朝から暖かな光りがあふれ、木々の緑もみずみずしく朝日に光り、あたり一面生き生きと輝いている朝である。
小学生の女の子が、忘れ物をしたのか、泣きながら家へと向かってゆく朝のひとつまでであった。
10月21日朝8時



11月の行事

○朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
おつとめ(正信偈・和讃六首引き)、法話、茶話会

○おみがき会(お寺の大掃除)
11月6日(土) 10時~3時
報恩講を前に仏具・内陣・外陣・客殿・境内の大掃除を行います。多くの方のお手伝いをお願いします。(お齊は寺で準備してお待ちしています)

○その他
11月13日(土) 築地別院報恩講
仏婦参拜日

11月23日(祝)
親鸞聖人

報恩講

10時30分 受付
11時 入門式
12時 おとぎ
1時 報恩講法要
講師 本願寺布教使
渡辺普相 師

○ヨーガ教室 11月10日(水)
24日(水) 各、午後1時より

12月の行事

毎、日曜日は「朝の集い」
8日(水) 成道会布教大会(築地)
10日(金) 婦人の集い
20日(月) 仏教講座会・懇親会

入門式のご案内

報恩講当日(11月23日) 午前10時30分より、天真寺門信徒会に今年度入会された方、また、門信徒会に入会されていて、入門式を受けてない方は受式下さい。受付は、当日受付にて行います。

第二回第一連区

門徒総代研修大会の報告

総代 大枝義一 記

一、日時 平成十一年九月四・五日
一、会場 本願寺築地別院
一、参加者 各教区より合計三〇三名(天真寺より加賀屋、松川、大枝の三名参加)
一、第一連区は、北海道、東北、関東地方の外、新潟、長野、山梨、静岡県と広い地区で、寺院は合計一、二九六寺あり。
九月四日 2時30分~5時30分迄
一、各教区の代表より総代会並に総代研修について種々報告あり、特に北海道・東北は地域は広いが、寺の数が少い関係で運営に問題があること。東京教区(関東地方)は日本の全人口の半が集中しているが、寺は四二七寺しかなく色々難しい問題がある。新潟・長野・山梨・静岡県は割合にまとまりよく運営されている。
一、記念講演 山崎龍明師 総代は門徒と住職とのパイプ役、法座活動の活発化の工夫、企画等々示唆に富んだお話あり。
九月五日 9時~12時迄・あと閉会
一、各教区の課題 パネルディスカッションの形式で進行し、昨日発表された「総代会の在り方」に関して色々意見交換された。討議を要約すると、門信徒会運動「ただ名ばかりの門徒」「形ばかりの僧侶」から脱皮、真のみ教と出会い。同朋運動―信心の社会性の回復をめざす、信心は私の人生のすべてに関連するもの、生老病死、社会の現実、宗教と政治、寺の問題等々山積です。
一、終って昨日に続き、山崎龍明師の「まとめの講義」があり、閉会となりました。
「まとめ」
紙面の関係で極々簡単な報告となりました。総代として力量なく、且不適格ではないかと反省しています。微力ですが門信徒会の活動の活性化、その他門信徒皆様の御協力を得て努力致したく思っておりますので、今後共よろしく御協力と御指導をお願い致します。

